地域の『ごみステーション』をきれいに！

ごみステーションはごみ置場であってごみ捨て場ではありません

最近、ごみの出し方のマナーが悪い「ごみステーション」が目立つようになってきました。指定袋以外で出す人や、収集日以外の日に出す人があとを断ちません。また、収集が済んだあとにごみを持ってくる人も少なくないようです。市では、収集日の朝八時までにごみを出すように指導しています。収集が済んだあとから出すようなことがないようにお願いします。

昨年から始めたビンの分別収集については、皆さんのご協力のおかげでかなり浸透し、ごみの減量化につながってきています。しかし、開始から一年ほどが経つにも関わらず、依然としてきちんと分別されていない場合が多くあります。特に、最近になっては開始直後からもひどいのではないかと思われるようなごみステーションさえあります。今一度ビンの出し方の徹底をお願いします。

可燃物やビンだけでなく、その他のごみについても、収集日を守らないうえに荷づくりが適切でないケースがあり、ごみステーションが乱雑になっているところもあるようです。荷づくりが不十分ですと風の強い日には辺りに散乱し、近所の人々に非常に迷惑をかけることになります。

特に、夏から秋にかけては台風シーズンでもあります。台風接近時には厳重に荷づくりするようにしたり、ごみが少量の場合には次回の収集に持ち越すなどの配慮をお願いします。

マナーの乱れは収集作業の遅れの原因になり、多くの人々に迷惑をかけることにもなります。ルールを守ってごみステーションの整理整頓を心がけるよう皆さんのご協力をお願いします。

また、昨年から一部量販店で家庭用可燃物の指定袋の販売を行っていますが、新たにAコープ久礼田でも販売を始めましたのでご利用ください。

乱雑に置かれたごみステーション
一人ひとりの心がけが大切です

※お問い合わせは、生活環境課環境公害係（☎市役所内線341）まで

||南国市総合計画||
土佐のまほろばあったか南国市⑦

十大基本目標
シリーズ⑤
"生きがいと安らぎの福祉のまちづくり"

市民誰もが、いずれは老いを迎えます。保健・医療・福祉サービスが等しく受けられ、安心して老後が迎えられるとともに、元気老人の生きがい健康づくりや、福祉インフラ（住宅・環境整備など）の整備を進めます。

(一) 社会福祉

近年、少子化・核家族化が進んできています。自分のまわりのことだけを考えるのではなく、他人を思いやり、助け合うボランティア精神を育て、自立を助けていくノーマライゼーションの精神を育成します。

○心のふれあう連帯意識と人間的に温かさに満ちた福祉の風土づくりを推進
○公共の福祉サービスの充実を図るとともに、自立を助ける福祉施策の推進
○市民一人ひとりが健康で生きがいのある、安心して暮らすことのできる社会づくりの推進
○公共の福祉サービスの充実を図るとともに、自立を助ける福祉施策の推進
○社会福祉団体・ボランティア活動などの育成強化を図り、福祉活動への主体的な参加の促進
○広域的なサービス供給体制や、民間などによる新たな福祉サービスの振興

(二) 高齢者・障害者福祉

高知県は高齢化が進んでいる高齢化社会への先進地です。

南国市HOPE計画

『新しい土佐のまほろばづくり』①

HOPE（ホープ）計画とは、「地域に根ざした住まいづくり」を進めるため、市町村が主体となって、地域の発意と創意により住宅づくり・まちづくりを進めるという新しい考え方の住宅政策で、建設省が昭和58年度より推進している制度です。

市では、平成5年度にHOPE計画の策定を行い、現在、HOPE計画推進事業を行っています。

HOPE計画の3つの目標

- 地域の特性を踏まえた質の高い居住空間の整備
- 地域の発意と創意による住まいづくりの実施
- 地域住宅文化、地域住宅生産などにわたった広範な住宅政策の展開

南国市HOPE計画のテーマは

『新しい土佐のまほろばづくり』で3つの柱を設定

- 「新しい土佐のまほろば」にふさわしい市街地づくり
- まほろばの里づくり（歴史の地の集落整備）
- 地域に根ざした住まいの文化づくり

計画は4つの分野からなっており、それぞれの内容は次のとおりです。

- ①良好な市街地・集落の整備
  - 既成市街地の再整備
  - 新市街地の計画的整備
  - 公的助成住宅の建設
  - 集落の整備
- ②地域住宅文化の育成
  - 伝統的建築物の保全と活用
  - 住まいに関する評価確立
  - 住まいのルールの確立
- ③地域住宅生産の振興
  - 住宅生産者組織の育成と発展
  - モデル住宅建設
- ④住まいづくり運動の推進
  - 普及啓発活動の推進
  - 他分野と組織の結合
  - イベント推進の策定

※お問い合わせは
都市計画課建築係
☎市役所内線224

今回は、南国市HOPE計画の内容をお知らせしましたが、次回からは、その概要をおしらせします。

南国市は高齢者対策を今後の市政にとってのキーポイントと位置づけ、元気で生きがいのある市民生活を過ごせるようなまちをつくります。

○南国市高齢者保健福祉計画に基づき各種施策の充実を図る
○障害者福祉計画の策定を行い、計画性のある施策の実施を図る
○障害者や要援護高齢者対策としてのホームヘルプサービス・ショートステイ事業の"在宅3本柱"の充実
○高齢者や障害者にやさしい道路や公共施設などの整備・改善
○障害者や高齢者の社会参加の場づくりや生涯学習の場などを通してまきがい対策の充実を図る
○ボランティア活動や、スポーツ活動などへの参加を促進
○定年延長や雇用の場の確保としてシルバー人材センターなどの活用、高齢者の雇用促進と能力開発、職場環境づくりを促進
○在宅福祉サービスの充実や在宅介護支援のために社会福祉協議会と連携を図り、要介護老人のニーズに応じた施設や機能の強化に取り組む

(三) 児童福祉

○社会の変化に対応した保育所のあり方について、総合的な改革に取り組む
○行政と民間の連携による乳児保育・障害児保育・延長保育など特別保育機能の強化を図る

下野田「おの子ども会」バーベキュー大会

(四) 国民年金

○市民すべてに年金権を確立するため、加入促進を図る
○被保険者間の公平を欠くことのないよう納付組織の育成・広報・相談活動を強化